

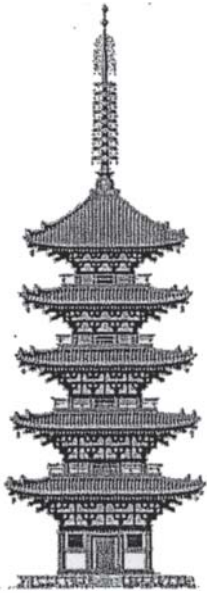
# 弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちは。早いものでもう九月。朝晩は冷え込む日もあります。くれぐれもご自愛ください。**最澄、空海後の仏教**がテーマの今年のかわら版。今月は**一向宗の興隆**についてです。

## ★蓮如(れんにょ)と真慧(しんね)

**親鸞**が開いた**浄土真宗**。ひたすらに、一筋に念仏することを意味する「一向」から、**一向宗**とも呼ばれていました。

室町時代には、親鸞の子孫が継承した京都東山大谷の**本願寺派**と、親鸞が在住布教した下野(しもつけ)の**枋木**高田の**専修寺派**(せんじゆ)寺を拠点とする**専修寺派**に分かれていました。

巻き込んだ**応仁の乱**(一四七七年)が勃発。これを機に、徐々に**戦国時代**に突入していきます。その頃、本願寺派には**蓮如**(一四一五〜一四九九年)、専修寺派には**真慧**(一四三二〜一五二二年)が出て、一向宗の勢力は急拡大します。



蓮如上人 (西本願寺蔵)

真慧は拠点を下野高田から伊勢一身田に移し、**高田派**と自称。比叡山や朝廷に接近し、宗派の地位安泰を画策したことに端を発し、弟子たちの争いが起きて分裂します。



真慧上人 (真宗高田派本山 専修寺HPより)

## ★加賀一向一揆

一方、蓮如は手紙(御文または**御文章**)や寄合いを活用して庶民の布教に注力。門徒拡大の勢いを怖れた**比叡山**は、本願寺を破壊して蓮如を迫害します。

蓮如は**三河**に逃げ、さらに**越前吉崎**に拠点を移します。吉崎には全国から門徒が集まり、大いに栄えます。

やがて、本願寺派の門徒、僧も**応仁の乱**に伴う政争や加賀国の家督争いに巻き込まれ、**一四八八年**、加賀国守護の**富樫政親**を滅ぼします。

以後、加賀国は、後に**織田信長**に敗れるまでの約一世紀間、本願寺派の門徒、僧、農民、武士、商人等の自治国となります。**加賀一向一揆**です。

## ★石山本願寺

やがて、蓮如は争いを避けて**山科**に拠点を移します。また、**大坂石山**にも坊を建てました。

**一四九九年**、蓮如が亡くなると、**比叡山**と日蓮宗の宗徒が近江守護の**六角氏**と手を組み、一向宗の山科の拠点を焼き討ち。

それを機に、石山の坊が一向宗の拠点として発展。後の**石山本願寺**です。

山科の一向宗を襲撃した**比叡山**と日蓮宗。その後は、日蓮宗の拡大も望まない**比叡山**が日蓮宗の二一寺を破壊。京都の日蓮宗は衰退します(天文法華の乱)。

こうして、戦国時代佳境の十六世紀には、**比叡山**と**石山本願寺**が二大宗教勢力となりました。

## ★本地垂迹説

鎌倉時代に開創された新しい六宗派は、室町時代から戦国時代にかけて大衆化していったと言えます。

公家、武士、農民、商人など、あらゆる階層に仏教が共有されていった時代です。来生での往生を願う、御利益を祈願する宗教として、仏教は民衆の間に根づいていきました。

また、この時期には、神仏混交の考え方が一層広まりました。仏教の**仏(本地)**と**ほんち**が日本の神の姿を借りて現れる(**垂迹**と**すいじゃく**)と考えられ、**山王神道**、**法華神道**などと呼ばれました。

## ★信長・秀吉と仏教

戦国時代の武将にとって、二大宗教勢力となった**比叡山**と**石山本願寺**は気になる存在です。

中でも、天下統一を目指した**織田信長**は**比叡山**と**石山本願寺**と壮絶な戦いを繰り広げます。来月は**信長・秀吉と仏教**をお伝えします。乞ご期待。

